広報 Ibaraki Public Information
いばらき
2023年（令和５年）
７月１日　発行
7
No.1085
July 2023

◆編集・発行
茨城町 町長公室 秘書広聴課
〒311-3192
茨城県東茨城郡茨城町小堤1080
☎ 029－292－1111
メールアドレス
ibarakit@town.ibaraki.lg.jp

◆人口
住民基本台帳
令和５年５月末現在
男　15,574人
女　15,413人
総人口　30,987人
世帯数　13,524世帯

◆茨城町民憲章
1 ふるさとの自然を守り、美しい環境の町をつくりましょう。
1 からだをきたえ、教養を高めて、すこやかな町をつくりましょう。
1 隣人や家庭の愛を大切にして、まごころのかよい合う町をつくりましょう。
1 自分の仕事に責任と誇りをもち、活気に満ちた町をつくりましょう。
1 文化遺産を愛護し、先人の努力に感謝できる町をつくりましょう。

◆町の花　桜
◆町の木　梅
◆町の鳥　うぐいす

◆町の防災行政無線が聞き取れなかった場合
防災行政無線テレフォンサービス
☎０８００－８００－８８４８
（通話料無料）
町ホームページにも放送内容を掲載しています。

◆町の情報発信中!!
●町公式ホームページ
https://www.town.ibaraki.lg.jp/
●町公式ツイッター
https://twitter.com/IbarakiTownMati/
●町公式インスタグラム
https://www.instagram.com/townibaraki_official/

モノサシトンボ（オス）

里山に育む生きものたち

№131　モノサシトンボ
（モノサシトンボ科）

学名　*Copera annulate (Selys,1863)*

写真・文　小菅　次男

▼新緑の頃に出現

野山が緑一色に覆われて、時々ホトトギスの声があたりの静けさを破る頃、このトンボは沼地や木立に囲まれた池のほとりに姿を現わします。体長45ミリ程で、成虫は５月から９月にかけて見られ、日本では北海道から九州まで広く分布し、国外では中国、朝鮮半島に分布しています。

▼名前の由来

このトンボの腹部には、「環形紋」と呼ばれる輪になった模様があり、それが物差しの目盛りのように見えるので「モノサシ」の名前が付けられました。

体が細長くスマートなトンボで、雌雄ともに未熟なときは黄色を帯びた褐色をしていますが、成熟するとオスは水色になり、メスは黄緑色と水色の個体の両方がいます。

▼薄暗い池沼を好む

木の葉の間から日が差し込むような、薄暗い環境の池沼を好みます。成虫は水辺をあまり遠く離れることはなく、付近の草地や木陰で生活しています。

成熟オスは水辺の植物に翅を閉じて静止し、時折周囲をパトロールしてメスを探します。また、縄張りを作り、他のオスが近づくと飛び立って追い払います。主に午前中、周囲の植物に止まって交尾し、ペアは連結したまま水辺付近の植物に産卵します。オスはその時直立姿勢で周囲を警戒しています。

▼擬死をする幼虫

幼虫は主として平地や低山地の水生植物の良く繁茂した木陰の多い池沼に生息し、水底や沈水植物につかまって腹部を背面にそらし、長大な尾鰓を開いていることが多く見られます。

幼虫は捕獲されると脚を縮め、U字型に体を曲げて死んだふりをする習性があります。幼虫の期間は４かり月から１年程度で、幼虫で越冬します。

※尾鰓（びさい）…トンボの幼虫の腹部にある呼吸器官。

▼近県で絶滅危惧指定

モノサシトンボ科のオモノサシトンボは、茨城県では絶滅危惧ⅠB類に指定されていますが、モノサシトンボはまだ指定されていません。

しかし、神奈川県、千葉県、東京都ではレッドリストに上げられ保護対象種となっており、国際自然保護連合では「軽度懸念」の指定を受けています。茨城町には本種の生息する木立の多い池沼が点在しています。今後もその環境が守られていくことを願っています。

ちびっ子アート　ウィステリアナーサリースクール

「わたしの だいすきなかぞく」
そのべ　ゆいな（5歳）

「かぞくで おなじ おようふく きたよ」
うえはら　りの（5歳）

再生紙を使用しています
PRINTED WITH SOY INK 環境に優しい大豆油インキを使用しています